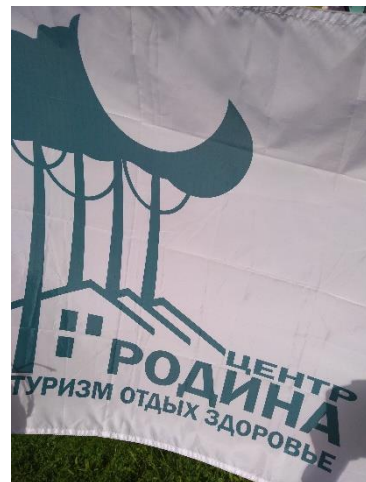


# 留学だより

2019年8月28日 発行者 山屋

みなさまいかがお過ごしでしょうか。

モスクワについてからだいたい一週間がたちました。私は8月22日からロシア連邦で留学しています。最初はモスクワ近郊の研修所でキャンプを行い、その後派遣先に配属されるといった流れになっています。



キャンプに行った施設へ↑

私はロシア南部、ヴォルゴグラード州のヴォルシスキーというところでホームステイしています。そこまでは電車で18時間かかりました。



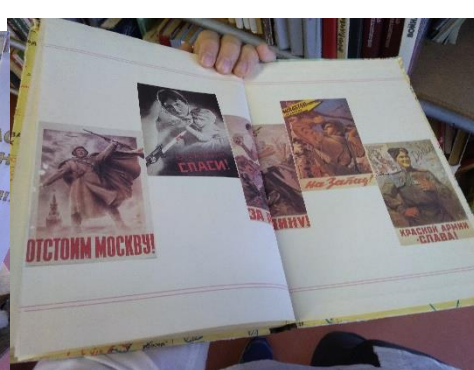
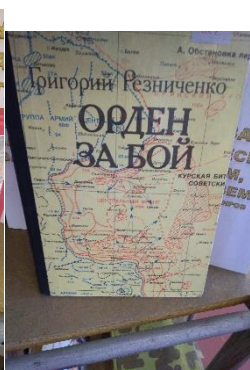
電車と寝台→

ホストファミリーは3人家族、マザーとブラザー（弟）とシスター（妹）です。家は日本でいう団地的なところにみんな住んでいる感じです。おそらくソ連時代に建設した建物がそのまま残っているので外見は廃墟に近いです。（1974って壁に書いてある）しかし機械警備がついていたり、部屋はきれいだったりとなかなか変わった感じです。一軒家はほぼなくみんな同じような家に住んでいます。図書館や学校なども近く、すべて徒歩圏内で完結する感じです。おそらくソ連時代の計画都市そのままなのでしょう。そのため、車のない家も多いです。また、ソ連時代の30年物の車も見受けられます。ただ、大型ショッピングモール（ヴォルガモール）といった資本主義的なものもあり、カオスという感じです。



家→

図書館の大祖国戦争コーナー  
（ロシアでは独ソ戦のことを  
大祖国戦争と呼ぶ）→



こちらに来てまず思ったことは、誰も英語を話せないということです。ロシアに来てから AFS のボランティアの人々以外が英語を話したのを見ていません。学校の担当者はおろかモスクワの空港職員でさえも全部ロシア語で話すので話の十分の一しかわかっていません。



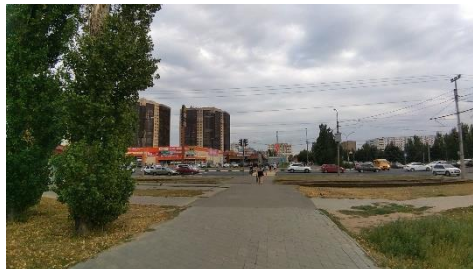
空港、誰も英語を話せなくて衝撃を受けた あとロシアにも KFC とマックはある↑



←左…ロシア共産党のカレンダー

←右 2 つ…町の様子

見事な計画都市ですね  
町には路面電車、バスがある



右上…レーニンの後ろ姿→

右下…テコンドー教室

先生が少し英語話せて、

日本語を若干知っている→

左…謎のコーヒー→

日本最高品質って言っているけれど  
Made in Swiss って箱に書いてある

